

第12期 中間報告書

証券コード 6629

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

グローバルな「人と社会」に
貢献できる企業であるために

TECHNO HORIZON

テクノホライゾン株式会社

トップメッセージ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
テクノホライゾングループ2022年3月期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の中間報告書をお届けするにあたりましてご挨拶申し上げます。

当社グループは、「教育」「安全・生活」「医療」「FA」の重点4市場に対し、「映像&IT」と「ロボティクス」により、持続可能な豊かな社会を実現するための仕組みやソリューションを提供しています。映像&IT事業においては、主力事業である教育市場向けの書画カメラや電子黒板の販売は、国内市場では前期の需要増の反動により、想定を下回りました。欧米市場では第1四半期に引き続きコロナ禍でのワークスタイル変化に伴うリモートワーク環境の設備需要が旺盛で順調に推移しました。また、業務用車載機器（ドライブレコーダ・デジタルタコグラフ）においては、需要は堅調に推移しているものの、半導体等電子部品の調達難により、予想を下回る結果となりました。このほか、連結化した企業が売上に貢献しました。

営業損益につきましては、成長を見据えた積極的な投資等により販売費及び一般管理費が増加いたしました。

1) 経常的な経費：連結の範囲の変更や将来の事業拡大に備えた積極採用による人員増加及び拠点整備による固定費の増加、並びにグループ入りした子会社に係るのれん償却の増加

2) 臨時的な経費：第1四半期に計上したM&Aの手数料（166百万円）

ロボティクス事業においては、主力事業であるFA関連機器は、第1四半期に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響からいち早く回復した中国市場を中心に、労働力不足から来る自動化・省力化ニーズが高く、堅調に推移しました。国内市場は引き続き緊急事態宣言の発出による需要減や半導体等電子部品の調達難の影響により想定を下回りました。

営業損益につきましては、当第2四半期に実施したM&Aの手数料を115百万円計上したことにより、販売費及び一般管理費が増加いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高13,995百万円（前年同四半期比43.5%増）、営業利益82百万円（前年同四半期比40.2%減）、経常利益149百万円（前年同四半期比69.5%増）となりました。法人税等が291百万円であったこと等により親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益34百万円）となりました。



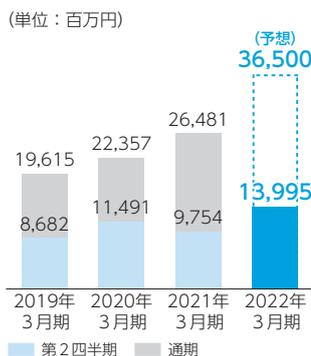
代表取締役社長
野村 拓伸

業績ハイライト

売上高

139億95百万円

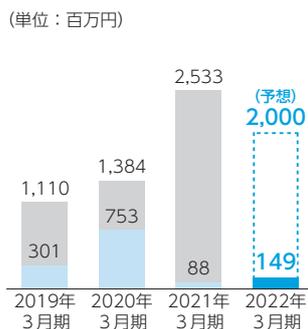
前年同四半期比 43.5% UP▲



経常利益

1億49百万円

前年同四半期比 69.5% UP▲



親会社株主に帰属する
当期純利益又は純損失

△1億30百万円

前年同四半期比 —



1株当たり配当金

20円00銭

(単位：円)



※普通配当15.00円、記念配当5.00円

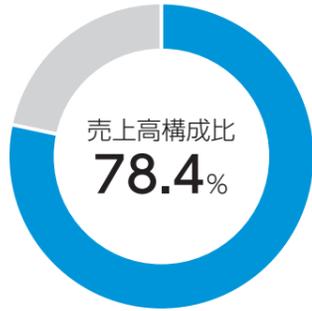
セグメント別概況

映像&IT セグメント



学校教育ソリューション事業
自動車ソリューション事業
セキュリティソリューション事業

オフィス・経営ソリューション事業
医療ソリューション事業
マシンビジョンソリューション事業



売上高 109億74百万円
前年同四半期比 47.9%増

営業利益 1億24百万円
前年同四半期比 135.8%増

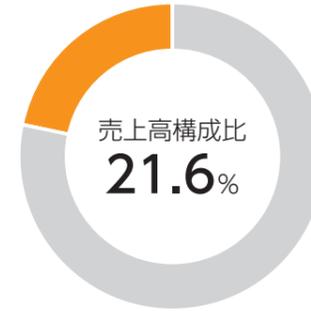
事業状況

映像&IT事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は10,974百万円（前年同四半期比47.9%増）、営業利益は124百万円（前年同四半期比135.8%増）となりました。

ロボティクス セグメント



ロボットソリューション事業
セキュリティソリューション事業
マシンビジョンソリューション事業



売上高 30億21百万円
前年同四半期比 29.4%増

営業損失 56百万円
前年同四半期比 ー

事業状況

ロボティクス事業における当第2四半期連結累計期間の売上高は3,021百万円（前年同四半期比29.4%増）、営業損失は56百万円（前年同四半期は営業利益81百万円）となりました。

トピックス

テクノホライゾングループの動き

㈱市川ソフトラボラトリーの株式取得（子会社化）
2021年6月、画像処理ソフトウェア技術を核にビジネスソリューション、コンシューマーソリューション、教育の各領域においてビジネスを展開している㈱市川ソフトラボラトリーの株式を取得し、子会社化しました。



太陽光発電設備導入
2021年6月、太陽光発電設備を本社、本社工場、及び笠寺工場の屋上に設置し発電を開始しました。当社は、今後も脱炭素社会並びに資源循環型社会の実現に貢献してまいります。



「インフォベストパートナー功労賞」受賞

2021年7月、業界に特化したクラウド型業務ソフトウェアを展開する米Inforの日本法人、インフォアジア（株）の年次パートナーイベントで「功労賞」を受賞しました。



代表取締役社長 野村 伸 特別企画トークショー出演

2021年7月、企業向け基盤システムERP（Enterprise Resource Planning）パッケージなどを提供するSAPジャパン主催の特別企画トークショー「Flow-er」（オンラインセミナー）に代表取締役社長 野村伸が出演しました。



英国 Igloo Vision社とのパートナーシップ契約

2021年9月、ESCO Pte.Ltdが、没入型ワークスペースソリューションの世界的なリーディング企業である英国Igloo Vision社とアジア太平洋地域における新しいパートナーシップ契約を提携しました。



アポロ精工（株）の株式取得（子会社化）

2021年9月、自動はんだ装置及び関連機器の製造・販売、レーザー関連製品の製造・販売を事業として取り組むアポロ精工（株）の株式を取得し、子会社化しました。



テクノホライゾングループソリューションフェア 2021 in 名古屋 開催

2021年9月29日～30日の2日間、「映像&IT」と「ロボティクス」で社会を変える」をテーマとした自社グループ展示会「テクノホライゾングループソリューションフェア 2021 in 名古屋」を開催しました。



教育

Zoomとつながる！スマートスイッチャー HS-2 発売

2021年5月、会議参加者の情報端末機器画面をワイヤレスでスムーズに切り替えて電子黒板やプロジェクターなどの大型提示装置に提示し、Zoomでの遠隔会議機能も備えた、スマートスイッチャー「HS-2」を発売しました。



電子黒板 [xSync Board] 2021年度モデル発売

2021年6月、学校や教育機関を対象に、GIGAスクール構想で整備された端末の活用を促進する「電子黒板 xSync Board 2021年度モデル」を発売しました。



Chromebook対応クラウド型授業支援ソフト「xSync Classroom Cloud」サービス開始

2021年6月、学校や教育機関でGIGAスクール構想の実現により導入が進む端末や環境に幅広く対応する授業支援ソフトとしてChromeOSに対応したブラウザベースで動くクラウド型授業支援ソフト「xSync Classroom Cloud」のサービスを開始しました。



安全生活

HD-TVI 4MPカメラ、5MP対応デジタルビデオレコーダー 発売

2021年5月、(株)エルモイグランドが、フルハイビジョンを超えたHD-TVI 4MP対応カメラと5MP対応HD-TVIデジタルビデオレコーダーを発売しました。



DLP®プロジェクタ・ソリューション 発売

2021年9月、DGP (Dynamic Ground Projection) 光学エンジンを搭載したDLP®プロジェクタ・ソリューションを発売しました。より広範な投影技術を活用した自動車のサポートが可能となります。



医療

移乗・移動ロボット「Keipu-Sb」取り扱い、販売開始

2021年9月、アイザック（株）の介護施設・医療機関向け移乗・移動ロボット「Keipu-Sb」（屋内用）の販売を開始しました。



睡眠見守りシステム「みまもり〜ふ」パートナー企業2社との連携、機能強化

2021年9月、(株)ブルーオーシャンシステム、(株)ティービーアイとのパートナーシップにより、「みまもり〜ふ」のサービス・機能強化を行いました。



FA

NewTec Scientific社製品の取り扱い開始

2021年5月、(株)アド・サイエンスが、フランスの走査型電子顕微鏡用ステージ等の実験装置メーカーであるNewTec Scientific社製品の取り扱いを開始しました。



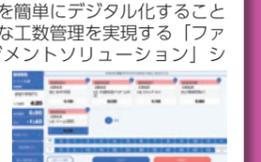
AIで作業を監視する「作業の番人」発売

2021年9月、アインド（株）が、工場現場における様々な作業を撮影したカメラ画像で作業者の作業をリアルタイムに監視するAI姿勢推定による作業監視システム「作業の番人」を発売しました。



工場経営マネジメントソリューション「TABLET Communicator 工数入力」Webアプリ版発売

2021年9月、アインド（株）が、「工程内の作業別工数情報」を簡単にデジタル化することにより、効率的な工数管理を実現する「ファクトリーマネジメントソリューション」シリーズ第七弾を発売しました。



会社概要

2021年9月30日現在

商号 テクノホライズン株式会社
(英文名: TECHNO HORIZON CO.,LTD.)
設立 2010年4月1日
事業内容 **【映像&IT事業】** 映像機器、IT機器・サービス、これらを組み合わせた各種製品・サービス・ソリューションの提供
【ロボティクス事業】 ロボット工学により自動化、省力化、省人化、最適化で、人々を補助・支援するロボット制御機器の設計・製造・販売
所在地 〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)
代表者 代表取締役社長 野村 拓伸
資本金 25億円
従業員数 連結1,320名
社内カンパニー エルモカンパニー
ファインフィットデザインカンパニー
タイテックカンパニー
ホームページ <https://www.technohorizon.co.jp/>

役員

2021年9月30日現在

代表取締役社長 野村 拓伸
取締役 浅野 真司
取締役 前田 憲二
取締役 廣瀬 隆志
取締役 口野 達也
取締役 加藤 靖博
取締役(社外) 寺澤 和哉
取締役(社外) 越原 洋二郎
常勤監査役 渡邊 哲也
監査役(社外) 原田 彰好
監査役(社外) 飯田 浩之
監査役(社外) 井上 龍哉

株式情報

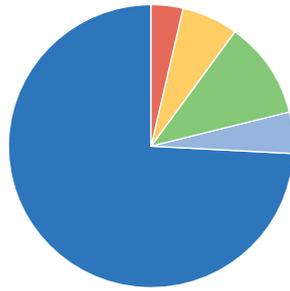
2021年9月30日現在

株式の状況

発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 21,063,240株
株主数 9,693名

所有者別状況

金融機関 775千株 3.68%
金融商品取引業者 1,366千株 6.49%
国内法人 2,350千株 11.16%
外国法人等 988千株 4.69%
個人・その他 15,582千株 73.98%



(注) 自己株式7,586千株は、「個人・その他」に含めて記載しております。

大株主

株主名	所有株式数(千株)	持株比率(%)
有限会社野村トラスト	1,480	10.98
有限会社野村興産	585	4.34
株式会社SBI証券	482	3.58
楽天証券株式会社	447	3.32
榊 泰彦	295	2.20
第一生命保険株式会社	290	2.15
テクノホライズン従業員持株会	289	2.15
株式会社大垣共立銀行	264	1.96
榊 雅信	250	1.86
JPMBL RE CREDIT SUISSE AG - DUBLIN BRANCH COLL EQUITY	217	1.62

(注) 1. 当社は、自己株式7,586千株を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。
2. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
定時株主総会 毎年6月
株主確定基準日 (1) 定時株主総会、期末配当金 3月31日
(2) 中間配当を行う場合 9月30日
(3) その他必要があるときには、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183-0044
東京都府中市日鋼町1-1
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

郵送先 〒137-8081
新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

公告掲載方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <https://www.technohorizon.co.jp/ir/stocks/koukoku/>
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

テクノホライズン株式会社

〒457-0071
愛知県名古屋市中区千竜通(チカマトオリ)二丁目13番地1
TEL. 052-823-8551 (代)

